

足場 鳶

とび



足場鳶に始まり、足場鳶で終わる!!

足場がなければ工事を進めることができません。

現場を支える重要な役割を担っているのが足場鳶です。

「足場鳶」の仕事とは？

「足場鳶」は建設工事やプラントメンテナンス工事など、高所で作業をする作業員の足掛かりとなる「足場」を組み立てたり解体したりする仕事です。

足場は鋼管パイプや足場板などの仮設材料を用いて組み立てます。足場の良し悪しで後から現場に入る作業員の作業のしやすさも変わるため、全体の工期にも大きな影響を与えます。また、足場には作業員の安全や命を守る大切な役割もあります。

このため、足場鳶には工事の作業効率や安全面を慎重に検討し、作業しやすい安全な足場を組み立てることが求められます。

「足場鳶」のやりがいや役割とは？

足場鳶は誰でもできる仕事ではありません。足場の設置や撤去、そして安全面について、専門的かつ幅広い知識を持つ必要があります。一定の専門性を持つ人材として仕事ができる点は大きな魅力だし、構造物の特徴や立地に応じて足場材や組立て方を検討することも、仕事の面白さにつながります。

足場は工事が終われば解体してしまい、形に残ることはありませんが、多くの作業員の作業、そして安全を支える、とても重要な役割を担っていることは、足場鳶の仕事をする上での大きなやりがいとなっています。

足場 鳶



どのような人が足場鳶に向いていますか？



常に複数人で仕事を進めていくため、仲間意識やチームワークが求められます。また、周囲の状況などを常に観察する必要もあるため、注意深く慎重な性格の人が向いています。



足場鳶に将来性はありますか？



AIなどの機械学習による自動化が進む世の中でも、足場鳶が消えることはありません。若い人材は常に必要とされ、また経験を積んで技術を身に付ければ、ベテランになってからも安定して仕事を得ることが可能です。



高い場所での作業は、危険ではありませんか？



足場鳶の仕事は危険を伴いますが、だからこそ墜落防止用器具の装着や危険予知トレーニング(作業前にどんな危険があるか確認するミーティング)を行うなど、さまざまな安全対策を徹底します。

なお、事故を未然に防ぐ仕組みやルールが「労働安全衛生法」という法律で定められています。この法律は過去の教訓を踏まえて更新されるため、作業環境の安全性も日々改善されていきます。

免許&資格

- ・とび技能士
- ・足場の組立て等作業主任者
- ・仮設工事施工安全監理者
- ・玉掛け技能講習
- ・フォークリフト技能講習
- ・小型移動式クレーン技能講習
- など